

# 議会だより



福島県中島村議会



令和4年第4回定例会 .....P2~3

令和4年度一般会計補正予算などを可決

一般質問（議員3名） .....P4~6

新規就農者育成対策は？

ICT教育の取り組みは？

人口減少の歯止めは？

議員行政視察報告 .....P7~9

徳島県上勝町・高知県北川村

知っておきたい中島村議会 .....P10~11

選挙運動の公費負担制度

行政区長に聞く(川原田行政区) .....P12

## 燃え上がる二子塚どんと焼きの炎

撮影者 仁科武芳さん・吉田茂典さん

令和5年1月8日 二子塚グラウンドにおいて二子塚地区の伝統行事どんと焼きが行われました。大杉こども会からひだまり会（老人会）まで総勢70人が集まって天高く燃え上げる炎を見つめ、一年間の無病息災、地域の安全を願いました。



QRコードをスマホなどで読み取り、議会動画がご覧いただけます。



なかじまさん

# 令和4年 第4回 定例会

## 令和4年度一般会計補正 予算など13件の議案等を可決

### 12月定例会 の概要

令和4年12月中島村  
議会定例会は、11月30  
日から12月7日までの  
8日間の会期で開会し  
ました。

今定例会では、条例  
制定1件、条例改正3  
件、令和4年度一般会  
計を含む補正予算に関  
する議案8件の12議案  
等が村長から提出され  
ました。

12月6日に3名の議  
員から一般質問があ  
り、村政を質しまし  
た。

最終日に村長から人  
事案件が1件提出があ  
りました。慎重に審議  
した結果、全議案原案  
どおり可決されまし  
た。

### 議決された補正予算

#### ◆令和4年度中島村 一般会計補正予算 (第6号)

既定予算に321万  
7千円を増額し、歳入  
歳出予算総額を40億  
1,155万6千円と  
する。

#### 歳入の主なもの

国庫補助金を501  
万円、財産収入を30  
3万9千円、諸収入を  
2万8千円増額補正し、  
繰入金を486万円減  
額補正する。

#### 歳出の主なもの

主に給与改定に伴う  
人件費の増額補正等  
○議会費 5万5千円  
○総務費 654万1  
千円 ○農林水産業費  
760万1千円 ○土

木費 206万8千円

○消費税 5万4千円  
○教育費 655万4  
千円(減額補正) ○民  
生費△443万3千円

○衛生費 △1,52  
2万2千円

その他補正のあった  
特別会計は下表のとおり  
可決されました。



### 議決された条例

◆職員給与に関する  
条例の一部を改正す  
る条例

原案どおり可決

◆中島村簡易水道事業  
及び農業集落排水処  
理事業の設置等に關  
する条例

原案どおり可決

### ■特別会計の補正予算

特別会計名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
令和4年度中島村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	5億7,836万5千円	2,374万5千円	6億211万円
令和4年度中島村簡易水道特別会計補正予算(第2号)	2億7,505万9千円	△194万5千円	2億7,311万4千円
令和4年度中島村土地造成事業特別会計補正予算(第1号)	1,489万9千円	2,354万5千円	3,844万4千円
令和4年度中島村農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第3号)	2億5,457万7千円	186万8千円	2億5,644万5千円
令和4年度中島村墓地特別会計補正予算(第1号)	324万4千円	20万円	344万4千円
令和4年度中島村介護保険特別会計補正予算(第3号)	4億9,880万9千円	4,763万2千円	5億4,644万1千円
令和4年度中島村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	5,111万3千円	19万7千円	5,131万円

◆中島村簡易水道量水  
器購入基金の設置、  
管理及び処分に関す  
る条例の一部を改正  
する条例

原案どおり可決

◆中島村簡易水道揚  
水・配水施設基金の  
設置、管理及び処分  
に関する条例の一部  
を改正する条例

原案どおり可決



### 人事案件

中島村教育委員の任命  
渡辺一三氏(川原田一)

原案どおり同意

※任期は令和4年12月  
12日から4年

# 行政報告

## 第34回ふくしま 駅伝で敢闘賞

11月20日に開催され、白河カタルススポーツパーク陸上競技場から福島県庁までの16区間、95キロのコースを各選手が力走し、結果は、5時間47分44秒で総合32位、村の部6位でした。昨年より総合順位を7つ上げ、みごと敢闘賞を受賞しました。



昨年の大会後から、小中学生に走る楽しさを感じてもらうなど、選手の手育成、強化に取り組んでおり、中学生が中心となり持てる力を十二分に発揮し、一秒でも早く襷をつなぐ思いが伝わる大会でありました。

## イベントなどが 中止

例年10月から11月に開催していた「なかじまの里スポーツフェスティバル」、「なかじま輝ら輝ら秋まつり」、国際交流事業の一環である「マレーシア・イナナム・セカンダリースクール生徒招聘」その他各種行事が、新型コロナウイルス感染症予防のため、今年も残念ながら中止となっています。

## 工事等発注状況

役場整備事業庁舎建築工事は基礎補強が完了し、基礎コンクリート打設も終了しました。埋め戻しが終了すれば、鉄骨の組立が始まる予定で、現在、計画通り順調に進捗しています。総合福祉センター及び健康づくり交流センター輝らフィットの災害復旧工事は間もなく発注予定です。



役場庁舎整備事業庁舎建築工事

多面的機能支払交付金事業は、村内7地区において事業が実施されておりあります。



多面的機能支払交付金事業（元村地区）

施設園芸燃料等購入助成事業として、施設園芸農家に対する燃料等購入の助成については、23件の申請を受け付け、11月中旬に支払いを完了しました。

現在、価格高騰重点支援地方交付金を活用した、商品券や、肥料高騰助成事業の準備を進めているところです。農道長寿命化事業5路線については、10月中旬発注しました。

岡ノ内及び原山地区公園遊具撤去工事は、11月上旬発注し、3月中旬完了予定となっております。

滑津小学校 南側駐車場造成工事は10月下旬に発注しました。吉子川小学校 遊具撤去



農道長寿命化事業（天下一地区）

・設置工事及び中島中学校生徒用ロッカー改修工事は完了しております。

その他の事務、事業等につきましても、年度内完了に向け順調に進んでおります。



滑津小学校南駐車場造成工事



原山地区公園遊具撤去工事



椎名 康夫議員

問

# 新年度に向けて新規就農者育成対策はどのようにするのか？

答

農業人材、人材確保に向けた新規就農者支援を強化していく。

問

村の基幹産業である農業を守るため、新規就農者育成対策は大事である。新年度に向けての対応はどのようにするのか。

答

村長

村内在住者より次年度から農業を本格的に始めたいとの就農相談を受けており、農業人材、人材確保に向けた新規就農者支援を強化していく。就農後の経営発展のため、新規就農者育成総合対策事業等を活用し、支援をしていく。

問

再

就農を希望するということは大変やる気のある方々だと思うが、就農希望者はどの段階まで話が進んでいるのか。

就農を希望するということは大変やる気のある方々だと思うが、就農希望者はどの段階まで話が進んでいるのか。

答

企画振興課長

一例として、会社を退職して本格的に家元就農で農業を進めていきたいという相談がある。JA及び県の普及部と一緒にどのような経営をしたいか進めている。近隣の先進地事例を研修に行くなどの計画もある。ミニトマトのアイメック栽培という新技法を使った栽培を計画している。新支援制度において、就農者がどのような支援を望むのか、村としては支援項目に対してバックアップしていきたいと考えている。



一般質問

問

再

定住化促進について長く維持した村の人口5000人台を割り込んで数年が経った。減少は続いている。数年先を見据えた踏み込んだ施策はあるのか。

答

村長

福島移住支援金給付事業や、マッチングサイト利用による福島県移住支援事業制度を利用した中島村、移住定住支援事業を実施している。村への移住定住の促進および中小企業等における人手不足解消のため首都圏から移住し、要件を満たした方に予算の範囲内で移住支援金を交付する事業である。また、関連事業として、中島村、結婚新生活支援事業も実施している。



問

再

仕事があれば人が集まる。企業誘致と雇用の確保のための取り組みはどうしていくのか。

答

村長

県が主催する企業立地セミナーや企業誘致プロモーション事業等に積極的に参加し、村のPRに努め、企業誘致を図っている。県内に進出を検討している各企業や進出要件や雇用計画など、情報交換

意見

村は就農希望者をつかりと支援し、この事業の認定者となれるように後押しをしていただきたい。それが後に続く人のモデルケースとなる。人・農地プランが新年度から着手されるが、アンケート調査などを早期にまとめ、速やかに村の農業のあるべき姿を確立していただきたい。

を行い、その情報を有効活用するため県の企業誘致支援策や各自治体支援状況を共有しながら雇用確保を推進していく。関連情報を得た場合に、興味を示す事業所を迅速に訪問し、村内情報の説明や資料提供などを行っている。



小室 重克議員

# 問 ICT教育の取り組み状況は？

**答** 子供たちの情報活用能力をどのように育成していくかを考え、日々取り組んでいる。

**問** GIGAスクール構想が打ち出され、児童生徒にも1人1台端末が整備されたが、タブレットの利用度、成果、家庭での活用などについて聞う。

の半分半分程度、また高学年では各教科の調べ学習ではほぼ毎日活用している。  
小学校間でZoomを使用し算数科や外国語科で利用を図っている。家庭での活用は現在のところ考えていない。

**答** 教育長  
小・中学校の児童生徒へ1人1台のタブレットを導入してから3年目となり、子供たちの情報活用能力をどのように育成していくかを考え、日々取り組んでいる。  
中学校では多くの教科で使用しており、例えば、数学では関数、図形領域が理解しやすいという成果があった。理科、社会体育ではデジタル教科書を活用した写真・動画を活用している。小学校低学年では使用頻度は中学校に比べ低いものの、週



運動の動画を撮影 (滑津小学校)



社会科調べ (滑津小学校)

一般質問

**再問** 各家庭に持つていって、学校だけでなく家庭でも自分の好きなものをどんどん進めていく、そういう教育が誰一人取り残さない教育だと私は思っている。その自宅の持ち帰りはなかなかやっている市町村はいないかもしれないタブレットの家庭持ち帰りについては、どのような考えか。



クラスルームでの活用 (吉子川小学校)

**答** 教育長  
持ち帰りを控えている理由としては、第1点目はタブレットを使用する時間や操作方法によって、児童生徒一人ひとりの学力差、能力差がさらに広まってしまうこと。第2点目は、家庭に持ち帰る際、タブレットの破損紛失等が考えられ、各家庭での弁償となること。



自分に合ったレベルで学習できる「すららドリル」(吉子川小学校)

第3点目は、家庭でのネットワークトラブルのリスクや使用時間の問題、不適切なコンテンツは閲覧制限しているが、インターネットに接続して様々なトラブルに遭遇することも考えられること。

**意見** ICTを利用できる環境づくりには必要である。学校教育だけではなく、家庭あるいは地域の中で、自分の長所、自分の好きなものをどんどん学習してもらおう。個人の能力の差は人間みんな異なるものだから、できることを伸ばしていくことは、人格形成上で非常に大切なことだ。いろんな課題があると思うが、先生方や村と協議しながら進めていただきたい。



小松 公雄議員

問

# 人口減少の歯止めのため、地域おこし協力隊制度を活用する考えは？

答

同制度を含め、新たな施策の検討を行っていく

問

福島県が発表した国勢調査によると2020（令和2）年10月1日時点の県人口は前回調査の2015（平成27）年より約7万人減り183万人だった。1955（昭和30）年の213万人をピークに連続の減少となった。県内59市町村のうち、前回より人口が減ったのは檜枝岐村、川俣町、金山町、鮫川村など47町村であり、うち10町村は減少率が10%を超えた。原発周辺の避難町村を除き西郷村、大玉村の二村はここ10年間右肩上がりが増えていく。中島村では未来の人口の見通しをどのように捉えているか。また、算定方法は？

答

村長

国勢調査では、2010年に総人口5144人。2015年は5001人、2020年で4885人との結果となり、人口は減少傾向である。そのため国のまちひとしごと創生長期ビジョンの考え方を踏まえた中島村人口ビジョンを制定し、2016年に2010年及び2015年の国勢調査を基礎数値とし、

福島県市町村要覧 2022 国勢調査人口の推移から抜粋

市町村名	平成22年 (A)	平成27年 (B)	令和2年 (C)	(B)-(A) (D)	(C)-(B) (E)	(C)-(A) (F)	(D)/(A) ×100 (G)	(E)/(B) ×100 (H)	(F)/(A) ×100 (I)
福島県	2,029,664	1,914,039	1,833,152	△115,025	△80,887	△195,912	△5.7	△4.2	△9.7
白河市	64,704	61,913	59,491	△2,791	△2,422	△5,213	△4.3	△3.9	△8.1
西郷村	19,767	20,322	20,808	555	486	1,041	2.8	2.4	5.3
原崎村	6,802	6,495	6,213	△307	△282	△589	△4.5	△4.3	△8.7
中島村	5,154	5,001	4,885	△153	△116	△269	△3.0	△2.3	△5.2
矢吹町	18,407	17,370	17,287	△1,037	△83	△1,120	△5.6	△0.5	△6.1
熊倉町	15,062	14,295	13,343	△767	△952	△1,719	△5.1	△6.7	△11.4
矢野町	6,348	5,950	5,392	△398	△558	△956	△6.3	△9.4	△15.1
舘町	9,884	9,157	8,302	△727	△855	△1,582	△7.4	△9.3	△16.0
鮫川村	3,989	3,577	3,049	△412	△528	△940	△10.3	△14.8	△23.6

一般質問

答

村長

地域おこし協力隊は都市部から人口減少や高齢化等の進行が著しい地域に移住し、地域ブランドや地場産品の

問

再

県内外では人口減少の歯止めを図るために地域おこし協力隊を募集し、福島県内では220人ほどの方が協力隊員として活躍している。本村において本制度を導入する考えがあるのか。

推計人口算定に用いる工法と要因法に基づき算定を行った結果、本村人口は、2025年に5000人を割り込み、2040年に4500人台となり、さらに2045年には4000人を下回り、2060年には3800人台と推計している。

開発、販売、PR等の地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住定着を図る取り組みとして有効な方策の一つである。全国の場合、受入れ側の就業体制の整備や独自支援の財源確保が求められる場合もあり、協力隊の生活環境の変化や給与報酬、対人トラブルが原因で失敗する事例が多く見られ、大変リスクも多い制度でもある。これらの問題を乗り越え、無事に協力隊を卒業しても継続してその土地で起業や就業し、移住定住するとは限らないのも現状である。

村ではこれらの事実を勘案し、現在のところ、地域おこし協力隊の募集は考えていない。しかしながら、人口減少施策として、地域

おこし協力隊も含めて新たな施策の検討を行っていく。

意見

現在、福島県では51の自治体がこの制度を利用している。人件費に關しては全額国で保障している制度である。村も利用するべきではないかと思っている。県内で220人の方が協力隊員として活躍している。この制度は平成21年から10年以上経過しようとして過している。なぜこの制度を利用しないのか前から疑問に思っていた。人口減少に対してこれ以外に代わりには独自の代案か何かあるのか。この制度ではいろんな分野がある。教育、農業、あるいは観光と色々な分野がある。この事業の導入を考えていくべきだ。

議員行政視察報告



この度、令和4年11月17日、18日に徳島県上勝町、高知県北川村へ行政視察に伺いました。国内では人口急減、超高齢化が進んでいます。人手不足や社会保障費の増大が深刻な問題となっています。中島村も高齢化率（65歳以上）が30・3%と高齢化が進ん

でいます。

本村の基幹産業の農業を支える農業従事者の高齢化や担い手不足、高齢者の生きがい・健康づくりなど超少子高齢化からの解決の糸口を探るために、持続可能なむらづくりのため早急な対策が必要な現状です。

上勝町ブランドのさらなる進化  
徳島県上勝町

人口1429人 高齢化率52・4%  
「葉っぱビジネス」による高齢者の活躍、持続可能なまちづくり・ゼロ・ウェイスト宣言の町

日本初の「つまもの」  
専門販売業者の株式会社いろどりの誕生

「葉っぱビジネス」と聞けば、山の花木を和食の「つまもの」として販売し、農業革命、



上勝町 林孝則副町長

高齢者の生きがい創出、医療費削減につながったことで有名な町とご存じの方も多いと思



生産者・JA・(株)いろどりの連携によって消費者需要に対応している上勝情報ネットワーク



合同会社バンゲアの梅西さんが説明(同社は上勝町の視察、ツアー、イベントなどを引き受けている)

高齢化と過疎化が進む中、「つまもの」の生産販売では、市場関係者が需要情報を農家に配信するネットワークシステムを導入し、生産者のお年寄りや女性がパソコンやタブ

さらに上勝町では2003年に日本で初めて「ゼロ・ウェイスト」を宣言し、ごみ削減に努め、リサイクル率80%以上を達成し、世界中から注目されています。

持続可能な  
まちづくりへ向けて



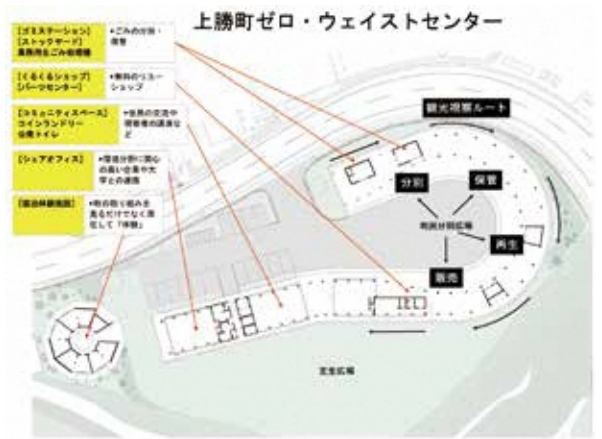
の視察が4000人ほどいるということです。成功例となり、全国からの視察が4000人ほどいるということです。高単価で高収益の農業ビジネスモデルに発展しました。常識の盲点をついた農業事業の成功例となり、全国からの視察が4000人ほどいるということです。



ごみの搬入・搬出場所

上勝町では「未来のことも私たちの暮らす環境を自分の事として考

上勝町ゼロ・ウェイストセンター



13種類45分類されたごみ類が整然と整理されている

リユース（回収・再利用）、リデュース（省資源化）が実現できて

13種類45分類して整理することによってリサイクル（再資源化）、

え、行動できる人づくり」を2030年までの重点目標に掲げています。ゼロ・ウェイストセンターは上勝町の持続的な循環型社会の象徴的な建物であります。住民の方がごみを持ち込み、



上勝町の皆さんと（ゼロ・ウェイストセンターの前で）

みるどころです。また、ごみの分別体験ができる宿泊施設やセミナールーム、町民のコミュニティセンター兼オフィスになっています。



上勝町役場企画環境課栗林七海さんの説明を聞く

**令和4年度 北川村子育て教育ビジョン**  
～魅力的な子育て・教育環境を目指して～

グローバル化、IT化、高齢化、人口の減少、新しい生活様式の到来など、国内外の情勢が刻々と変化していく中で、北川村の豊かな地域資源や教育環境を守り、未来を担う子どもたちの子育て教育環境を保護者や地域の皆様とともに推進していくための種別型としてビジョンを作成しました。このビジョンについては、今後保護者や地域の皆様と協議を行い、バージョンアップを図りながらより良い子育て・教育環境を創りあげていきます。

**基本理念** 4つの活動で「学びのサイクル」をつくります！

**「かかわる みつける たがやす つくる」**

- たがやす** 課題の解決や克服につなげるよきともにも、新しい価値を創りだしていく
- かかわる** 異年齢・異職種・村内外のするなど、多様な人との出会いや関わりの中で
- みつける** 良さや長所だけでなく、課題や問題点を見つけていく

**15才までに育ってほしい子どもの姿**

**「ふるさとへの愛着と誇りを持ち、学ぶ意欲にあふれ、未来を切り拓く社会性豊かな子ども」**

- 北川村に誇りと愛着を持ち、地域に貢献しようとする子
- 確かな学力を身につけ、身についた学力を社会に出て活かせる子
- 自分の考えや思いを相手に伝えることができる子
- 自分のことも他人のことも大切にできる子
- きまりを守り、自分のことは自分でできる子

地域の人とのつながり、協力しながら課題解決に取り組む北川村子育て教育ビジョン

北川村では1000人の家族を育むゆず王国を目標に生活できる産業の構築、子育て環境の整備を村一丸となつて取り組んでいま

**北川村の挑戦**  
2060年に1000人の家族が子どもを育むゆず王国を目指す

農業や村面積の約95%を占める森林を活用し「ゆず」を中心とした有数の生産量を誇るす。村の主産業は日本に伴いゆず農家の担い手の減少が進む中、新規就農者や後継者など担い手の確保・育成体制、さらにスマート農業の導入を推進、強化しています。地域おこし協力隊、農地中間管理機構関連農地整備事業等を教育と産業を連携して進める「ゆず振興ビジョン」のアイディアについて野見山北川村副村長（農林水産省から出向）から説明がありました。



野見山 誉 北川村副村長

**農業所得500万円を目指して 高知県北川村**

人口1146人 高齢化率44.1%  
ゆずの産地を守り、100戸の専業農家を育成、持続する村に向けて

た林業、そしてフランス・ジヴェルニーのモネの庭から世界で唯一公認された「モネの庭」マルモッタンや中岡慎太郎館、北川村温泉などによる観光産業です。しかし人口減少に伴いゆず農家の担い手の減少が進む中、新規就農者や後継者など担い手の確保・育成体制、さらにスマート農業の導入を推進、強化しています。地域おこし協力隊、農地中間管理機構関連農地整備事業等を教育と産業を連携して進める「ゆず振興ビジョン」のアイディアについて野見山北川村副村長（農林水産省から出向）から説明がありました。



ディスカッション形式で



農業研修生の受け入れは？

まず、ゆずは種から植えた実がなるまでに16年かかります。接ぎ木でも2年生苗から背の高さになるまで3年程かかり、5、6年したらなんとか収穫ができるようになります。



担い手の育成と子育ての環境づくりが連携しているゆず振興ビジョン



岩垣実男議長(右) 濱渦章副議長(左)

総務省の地域おこし協力隊を3年間、そして就農後に農林水産省の3年間と合計6年間の国の支援を受けながら



濱渦康雄総務産業建設常任委員長

自立していただく。

例えば、1haの内0・5haを新しく補助で基盤整備し生産性の高い園地を造りながら、残りの0・5haで軌道に乗るまでの生活収入を確保するというサイクルを創っていきます。



岩村大志産業政策課長

バラ(とげ)も皮手袋をして慣れれば大したことではありませんが、単価の高い青果玉には気を使います。収穫は

ゆずはとげもあって、収穫するのも並大抵のことではないと思いが。



難しく、苦労します。

昔はほとんどが兼業農家で、専業農家が出てきたのは最近のことです。収穫が比較的楽な酢玉だけだったんです。青果玉は専業農家、酢玉は兼業農家とプロと素人ぐらいの差もあります。

単価の高い青果玉はフランスなどに輸出したり、料亭に出すもので、酢玉は搾ったり、加工するものです。ゆずの生産は簡単に他が着手できないことが参入障壁となつていきます。その年に生産したゆずはすべて出荷されています。生産者の高齢化によって青果玉



北川村の皆さんと(北川村役場前)

が減少しています。これではゆず生産の活力を失うことになります。若い方に来ていただき、青果玉の生産に取り組んでゆず産業を支えていただきたい。



び寄せています。

行政視察を終えて 「桃栗3年、柿8年」という言葉は何事も成就するまでにそれ相応の年月がかかるということの例えを表した言葉です。果樹農家は植えた木から実がなるまでには長い年月を手塩にかけて育てていかねばなりません。正にこれは人を育てることと同じです。

人口減少の中、今回視察した上勝町、北川村はそれぞれ地域の存続をかけて未来ビジョンを設定し、目標に向かって真剣に団結し、しかも急務な事業として取り組んでいることを目のあたりにしました。我々議員も危機感とスピード感をしっかりとらえて、村発展のために取り組んでいきます。

# 知っておきたい 中島村議会



議会の運営は、村民の暮らしに大きく関わっています。

## 村議会の役割とは？

中島村議会は、村民の皆様が選挙で選んだ議員で構成され、村民の代表として、村民の皆さんの意見を村政に反映させ、公正・公平で効率的な行政が行われるよう権限が与えられています。

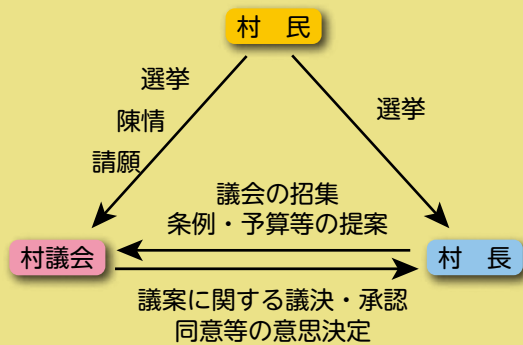
## 中島村議会議員の定数は？

8名

## 中島村議会議員の任期は？

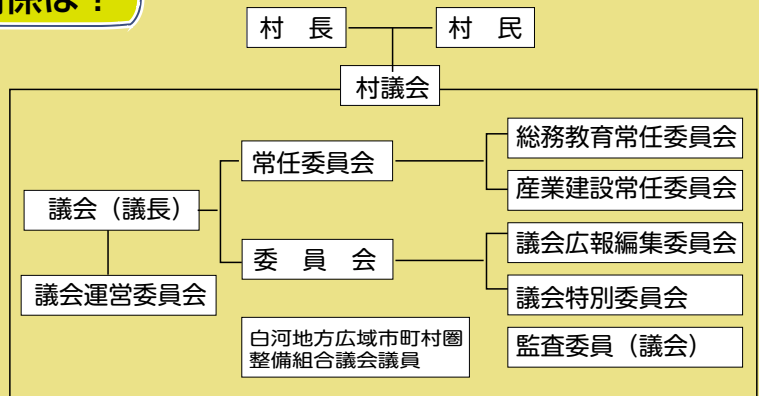
4年

(現職議員の任期満了日は令和5年9月21日です。)



## 村民・村議会・村長の関係は？

村長など執行機関と議会は、それぞれ独立した対等な立場で、お互いを尊重し合い、協力し合い、または議論し合いながら、住みよい中島村のむらづくりを推進しています。



## 議会はいつ開催されるの？

定例会 毎年 3月・6月・9月・12月の年4回開催

臨時会 定例会以外に必要な場合は開会



議会の傍聴に  
いらして  
みませんか？

現在はインターネットでの録画配信や会議録検索でもご覧いただけますが、身近な問題が、議会でどんな形で行われているのか、どのように審議・決定されるのかを傍聴することができます。

どなたでも傍聴することができ、議会の傍聴にぜひお越しください。

お願い

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、傍聴者の数を制限していますので、予めご了承ください。せき・発熱などで体調のすぐれない方におかれましては、傍聴をお控えいただきますようお願い申し上げます。

# 選挙運動費用の公費負担 制度について

町村の選挙における立候補環境の改善を図るため、公職選挙法が改正され、選挙公営の対象が市と同様のものに拡大されました。本村においても条例を制

定し、村長選挙及び村議会議員選挙における選挙公営を拡大しました。これは、候補者の負担を減らし、候補者間の運動機会均等を図ることで、より立候補

## 地方選挙の選挙公営と供託金

選挙区分	公営の有無			供託金額
	選挙運動用自動車	選挙運動用ポスター	選挙運動用ビラ	
県知事	○	○	○	300万円
県議会議員	○	○	○	60万円
市長	○	○	○	100万円 ※政令指定都市 240万円
市議会議員	○	○	○	30万円 ※政令指定都市 50万円
町村長	× ↓ ○	× ↓ ○	× ↓ ○	50万円
町村議会議員	× ↓ ○	× ↓ ○	頒布不可 ↓ 頒布解禁 公営対象	無し ↓ 供託金導入 15万円

## 選挙運動自動車、ビラ・ポスター作成選挙公営制度利用

候補者が業者などと金額のかかる契約（「有償契約」といいます）をすることが前提です。

### ●選挙運動用自動車借入れでの公費負担額の算定

- 候補者は、「一般運送契約」と「その他の契約（個別契約）」のいずれかを選択することになります。
- 表の単価、選挙期間日数は上限のため、それに満たない契約の場合はその契約額が公費負担額になります。
- 生計同一親族からの自動車借入れ、燃料供給、運転手雇用の場合は公費負担の対象になりません（例外あり）。

契約の種別	限度額
一般運送契約 (ハイヤー方式)	1日1台64,500円 ×5日(選挙期間) = 322,500円
その他の契約 (個別契約方式)	①自動車借入契約 1日1台につき15,800円 ×5日(選挙期間) = 79,000円
	②燃料供給契約 1日7,560円 ×5日(選挙期間) = 37,800円
	③運転手雇用契約 1日1人12,500円 ×5日(選挙期間) = 62,500円

※村長、村議選挙の選挙期間は、5日間です。

### ●選挙運動用ビラの作成費の公費負担額の算定

- 表の単価、法定枚数は上限のため、それに満たない契約の場合は、その契約額が公費負担額になります。

選挙の区分	限度額
村長選挙	1枚7.51円 ×5,000枚(法定枚数) = 37,550円
村議会議員選挙	1枚7.51円 ×1,600枚(法定枚数) = 12,016円

### ●選挙運動用ポスター作成費の公費負担額の算定

- 表の作成単価、ポスター掲示場数は上限のため、それに満たない契約の場合はその契約額が公費負担額になります。

選挙の区分	限度額
村長選挙	1枚3,108円(村単価による作成単価) ×36(ポスター掲示場数) = 111,888円
村議会議員選挙	

しやすい環境整備を目指すことを目的としています。また、村議会議員選挙ではこれまで

不要だった立候補にあたっての供託金（15万円）が必要になります。詳細は村選挙管理委員

会（☎52-3486）まで。

## 募集

### 表紙写真

カメラ、スマホなどで撮影した中島村の様々な写真の応募をお待ちしております。

#### ■募集写真

中島村内で撮影されたカラー写真（デジタルデータ）

#### ■応募資格

中島村内在住・在勤・在学の方

#### ■応募方法

氏名、住所、電話番号、写真のタイトル、撮影場所、撮影日時を記載し、議会事務局へ電子メールか、直接電子データをお持ちください。

#### ■締め切り日

令和5年5月号

令和5年3月31日



どんと焼きで先に餅をつけて焼きます。おいしそう！



# こえ 住民の声

全11回  
9回目

## 「行政区長に聞く」

### 1 川原田地区のPRをお願いします。

川原田地区は1組・2組・3組・4組・上栄で構成され行政区戸数は124戸です。令和4年2月に念願の県道棚倉・矢吹線(川原田地区)バイパス道路が開通されました。地域の交通安全と利便性が良くなり活性化が期待されます。来迎寺(旧吉子川小学校)があり、(今話題の狛犬)川田神社があります。近くには吉子川小学校があります。新しい組織団体では、令和3年に「うつくしまの川・サポート制度」の川原田地区阿武隈川をきれいにする会が結成され活動しています。広く整備された田園風景と地区の南側には、阿武隈川が流れ、常陸橋がかかっています。西側には那須連山が姿を見せています。風も強く吹きます。各種団体の執行部が活動や行事を力を合わせて行っています。

### 2 村、議会に望むことを教えてください。

村、議会の皆様には、地域住民の為に活動して頂き感謝申し上げます。村民が自分の住んでいる地域を好きになることで外の人に興味を持ってもらえると思いますので、まず住民が夢と目標「ビジョン」持てるようにすることが大事と考えます。それぞれの後継者問題や高齢化、少子化それでも生活をよりよくして続けたいと住民は頑張っています。そうそうオンラインワンというものはないので、とにかくリスクを取って出来ることは何でもやりましょう！旧道と泉崎線の一時停止の交差点が危険と思うので抜本的な安全対策を考えてほしいです。また旧道の利用方法も。

### 川原田行政区



川原田行政区長  
鈴木 正雄さん  
(69歳)

### 3 未来の区の夢を教えてください。

阿武隈川堤防の草刈や掃除だけじゃあもったいない。強固なスーパー堤防(無駄ともいう)を作りそこに住宅や企業を誘致するなどして、新しいコミュニティが生まれればよいと思います。知名度アップになります。川は危険ですが、知識があれば安全に利用して楽しめます。多目的親水公園ができれば憩いの場ともなります。河川敷も有効に利用したいです。毎朝公園で気持ち良くラジオ体操をしたいし、皆さんにも健康寿命を延ばしていただきたいです。一家に一台水力発電？

## 議会のうごき

10月	31日	・第34回市町村対抗県縦断駅伝大会 中島村チーム激励会	12月	7日	・令和4年第4回定例会(最終日、補正予算)
	4日	・中島村交通安全協会視察研修(三陸、気仙沼方面)~5日		12日	・社会福祉協議会評議員会
	9日	・第66回町村議会議長全国大会(東京NHKホール)~10日		17日	・収穫祭(川原田)
11月	15日	・11月号議会だより(No.146)発行	20日	・広域圏組合議会定例会	
	16日	・議会議員行政視察研修(徳島県上勝町、高知県北川村)~19日	23日	・例月出納検査	
	20日	・第34回市町村対抗県縦断駅伝大会 応援、報告会	1日	・年頭のあいさつ	
	28日	・定期監査 ~29日	6日	・市町村議会議長合同新年会	
12月	30日	・令和4年第4回定例会、開会	7日	・二十歳を祝う会	
	1日	・定期監査講評(ZOOM)	8日	・出初式、安全祈願祭、中島村表彰式	
	6日	・令和4年第4回定例会(2日目、一般質問・条例)	8日	・議会及び監査委員合同新年会	
12月			17日	・広報編集委員会	
			18日	・全国町村監査委員協議会第32回定期総会	
			26日	・例月出納検査	



ZOOMでオンライン定期監査講評を行う有松代表監査委員



タブレットを使用し議会だよりの校正を行う編集委員

議会だよりへのご意見をお寄せください。

FAX 0248-52-2449  
メール gikai@vill-nakajima.jp



発行 中島村議会

〒961-0192 福島県中島村大字滑津字中島西11-1  
電話 0248-52-3486